

# José Carreras

## ホセ・カレラス テノール・リサイタル2024

～唯一のオーケストラ付き公演～



©Yuji Hori

ゲスト **森 麻季**

指揮 **デイヴィッド・ヒメネス**  
東京フィルハーモニー交響楽団

2024.11.3 (日) 18:00 開演  
(17:00 開場)

TACHIKAWA STAGE GARDEN

立川ステージガーデン

料金 [税込]

※全席指定席

S席 ¥36,000

A席 ¥29,000

B席 ¥25,000

C席 ¥20,000

U-25席 ¥3,600

問い合わせ先

●日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545 (平日10:00～18:00)

●チケットぴあ ▶ Pコード275-822 ●ローソンチケット ▶ Lコード33682 ●イープラス ▶ <https://eplus.jp/>

主催:株式会社立飛ホールディングス

企画・制作:立飛ホールディングス100周年事業事務局/プリマヴェーラ・アーツ株式会社/有限会社ヴィヴァーチェ/株式会社東京音響通信研究所/株式会社シアターワークショップ

招聘:ビザビジョン 後援:エフエムたちかわ/立川商工会議所/立川市商店街振興組合連合会/たちきたエリアマネジメント/一般社団法人立川観光コンベンション協会

協力:株式会社立飛ストラテジーラボ/一般社団法人立飛教育文化振興会/株式会社立飛ホスピタリティマネジメント/公益財団法人立川市地域文化振興財団/

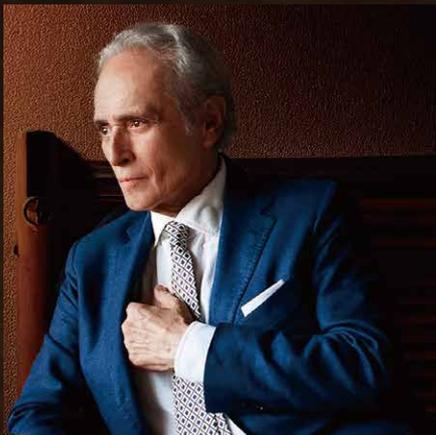
株式会社三越伊勢丹 伊勢丹立川店

※未就学児のご入場はお断りいたします。 ※止むを得ない事情により出演者・曲順が変更となる場合がございます。 ※本公演ではPAを使用しております。

※営利を目的としたチケットの転売行為は固く禁じられており、転売されたチケットではご入場いただけない場合があります。 ※ご入場できない場合、金銭的な保証は一切ございません。

# 世界三大テノールの一人として名を馳せたホセ・カレーラスによる 最高峰の歌声をゲストとオーケストラとともに

## ホセ・カレーラス *José Carreras*



スペインのバルセロナに生まれ、1958年に子役としてリセウ大劇場でデビュー。プロとしては、1970年にリセウ大劇場で《ナブッコ》と《ルクレツィア・ボルジア》に出演。彗星のように現れたカレーラスは異例の若さで世界有数の劇場や音楽祭にデビューを果たした。オペラのレパートリーは60作品以上に及び、特に《アンドレア・シェニエ》、《ラ・ボエーム》、《トスカ》、《ウェルテル》、《ドン・カルロ》、《カルメン》、《運命の力》、《道化師》、《愛の媚薬》、《仮面舞踏会》等には何度となく出演している。

リサイタルのレパートリーはバロックから現代音楽まで600曲以上の幅広いジャンルを誇る。レコーディングは150以上に及び、世界中のゴールドおよびプラチナ・ディスクを数多く受賞。

ブラシド・ドミンゴ、故ルチアーノ・パヴァロッチィと共演した「三大テノール」のイベントでは全世界の20億以上の観衆を魅了した。

また、1988年以来、カレーラスは音楽家としての活動と共に「ホセ・カレーラス国際白血病財団」の活動に全精力と情熱を捧げている。この財団はバルセロナで設立され、アメリカ合衆国、スイス、ドイツに支部を置いており、カレーラスが現在最も優先し、重要なライフワークの一つにしている活動である。

## デイヴィッド・ヒメネス *David Giménez*

1964年スペインのバルセロナ生まれ。テノール歌手ホセ・カレーラスの甥でもあるヒメネスは故郷のリセウ音楽院、ウィーン音楽大学、さらにロンドンの王立音楽大学で学ぶ。1994年7月にハンブルグ交響楽団でデビューして



以来、指揮者として世界中の著名な歌手や演奏家と共演。ロイヤル・アルバート・ホール、ウィーンのコツェルトハウス、ベルリンのフィルハーモニック、そしてニューヨークのカーネギー・ホールやリンカーン・センターのアーブリー・フィッシャー・ホールなどで指揮を務め、2006年、カタロニアのバルセロナ交響楽団の音楽監督に任命された。

オーケストラ指揮の活動としてはウィーン・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、パリ管、ミュンヘン放送管、新日本フィル、バルセロナ響、ロンドン響、シカゴ響、コヴェント・ガーデン王立歌劇場管がある。彼のキャリアの中でオペラは特に大切な位置を占めており、ウィーン国立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バルセロナのリセウ劇場、マドリッド王立歌劇場などで指揮をし、声楽に対して卓越した理解力を持つ彼はアラニア、バルツァ、ドミンゴ、ボンズ、ターフェル等の著名な歌手と共演している。

## 東京フィルハーモニー 交響楽団 *Tokyo Philharmonic Orchestra*



1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミュンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組や国民的番組『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』にも登場。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

## ゲスト 森 麻季 *guest Maki Mori*



東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学し、P.ドミンゴ世界オペラコンクールはじめ、多数の国内外のコンクールに上位入賞。ワシントン・ナショナル・オペラ《後宮からの逃走》でアメリカ・デビュー。その後、ルイージ指揮ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を得る。2015年兵庫県立芸術文化センターオペラ《椿姫》でタイトルロールを好演。鈴木優人指揮、パッサ・コレギウム・ジャパンと共演した歌劇《ポッペアの戴冠》(2017)、歌劇《リナルド》(2020)、歌劇《ジュリオ・チェーザレ》(2023)は各紙で絶賛された。2022年《椿姫》Bunkamuraシアター・オペラ・コンチェルタンテでヴィオレッタを熱演し喝采を浴びる。2023年BBCプロムスにデビュー。2024年山田和樹指揮バーミンガム市響による歌劇《蝶々夫人》のタイトルロールは現地の聴衆の喝采を浴びる。コンサートではアシュケナージ、小澤征爾等の著名指揮者や国内外の主要オーケストラと共演し成功を収める。2022年より国立音楽大学客員教授。安宅賞、ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオーケストラ賞受賞。



## TACHIKAWA STAGE GARDEN 立川ステージガーデン

アクセス  
JR立川駅より徒歩約8分  
多摩モノレール立川北駅から徒歩7分  
〒190-0014 東京都立川市緑町3-3N1  
※会場には、お客様専用駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。